



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社

コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 高木 浩樹

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	138,279	6.5	33,933	49.4	34,791	10.7	21,386	120.2
27年3月期第2四半期	129,842	△6.4	22,719	△18.7	31,415	15.0	9,710	△53.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 26,995百万円 (175.3%) 27年3月期第2四半期 9,805百万円 (△71.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	65.69	64.68
27年3月期第2四半期	29.00	28.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	611,053	496,841	80.5
27年3月期	602,900	478,883	78.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 492,059百万円 27年3月期 474,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	24.00	—	28.00	52.00
28年3月期	—	28.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,500	10.0	78,000	54.9	88,000	13.0	59,000	33.9	181.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	351,136,165 株	27年3月期	351,136,165 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	25,557,435 株	27年3月期	25,564,239 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	325,580,071 株	27年3月期2Q	334,906,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,382億79百万円、営業利益339億33百万円、経常利益347億91百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益213億86百万円となりました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品市場において「クレストール」「イルベタン」の販売が堅調に推移し、また第1四半期連結会計期間より日本イーライリリー株式会社との契約変更を実施した「サインバルタ」も順調に販売を拡大しました。これら戦略3品目の貢献により、国内医療用医薬品全体では、前年同期比1.9%の増収となりました。海外におきましては、米国子会社シオノギINC.の閉経後膣萎縮症治療薬「オスフィーナ」が確実に販売を拡大しており、品目売却も含め、海外売上高全体では前年同期比6.7%の増収となりました。製造受託売上高につきましては、前述の「サインバルタ」契約変更の影響により前年同期比46.1%の減収となりましたが、ロイヤリティー収入は、抗HIV薬「テビケイ」及び「トリーメク」のグローバル販売が順調に拡大していることを受け、前年同期比32.4%の増収となり、売上高全体では前年同期比6.5%の増収となりました。

利益面では、売上総利益が前年同期比11.0%増加、加えて国内外における販売費及び研究開発費の効率的な使用への取り組みもあり、販売費及び一般管理費が前年同期比1.6%減少し、営業利益は前年同期比49.4%の増益となりました。経常利益につきましては、前述の営業利益の増益の一方で、前年同期にはViiV社からの受取配当金があったため、前年同期比10.7%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期において過年度法人税等の計上があったため、前年同期比120.2%の大幅増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,110億53百万円で、前連結会計年度末と比べて81億53百万円増加しました。流動資産は、主として売掛金及びたな卸資産の減少、前連結会計年度に計上した未収金（ViiV社からの配当金、流動資産の「その他」に含みます）の回収等による減少と現金及び預金の増加により、前連結会計年度末より44億46百万円多い2,643億94百万円となりました。固定資産は、主として株価の上昇による投資有価証券の増加により、前連結会計年度末より37億7百万円多い3,466億58百万円となりました。

負債合計は1,142億12百万円で、前連結会計年度末と比べて98億4百万円減少しました。流動負債は、主に未払法人税等及び未払消費税等（流動負債の「その他」に含みます）の支払により減少し、前連結会計年度末より107億11百万円少ない570億82百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末より9億7百万円多い571億29百万円となりました。

純資産合計は4,968億41百万円で、前連結会計年度末と比べて179億58百万円増加しました。株主資本は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払などの結果、前連結会計年度末より122億68百万円多い4,595億17百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主として株価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加、為替の好影響による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末より55億31百万円多い325億41百万円となりました。また、新株予約権は前連結会計年度末より81百万円増加し3億52百万円、非支配株主持分は前連結会計年度末より77百万円増加し44億30百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、411億51百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益346億48百万円、減価償却費59億70百万円、のれん償却額16億61百万円などによるキャッシュ増加のほか、ViiV株式の配当金収入及び法人税等の支払により、前年同期比188億4百万円の収入増となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に定期預金の預入による支出や有形固定資産の取得による支出により、191億50百万円の支出となり、前年同期比86億43百万円の支出減となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払91億7百万円などにより93億13百万円の支出となり、前年同期比187億48百万円の支出減となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は129億29百万円のキャッシュ増加となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、916億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月11日に公表した平成28年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	296,000	72,500	79,500	52,000	159.72
今回発表予想 (B)	301,500	78,000	88,000	59,000	181.22
増減額 (B-A)	5,500	5,500	8,500	7,000	—
増減率 (%)	1.9	7.6	10.7	13.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	273,991	50,365	77,880	44,060	132.67

2. 連結業績予想の修正理由

通期の見通しは、売上高につきましては、「テビケイ」及び「トリーメク」の順調なグローバル販売の拡大がロイヤリティー収入を押し上げ、全体の売上高は従来予想を上回る見通しです。利益面につきましては、先述のロイヤリティー収入の増加に加えてViiV社からの配当金の増加が予想され、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ通期で従来予想より増加する見通しです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたします。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変更に伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得関連費用若しくは連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替えは行っておりません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成27年3月26日）を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、米国子会社シオノギINC. が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産-のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額はありませぬ。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,784	74,199
受取手形及び売掛金	70,584	63,981
有価証券	58,700	61,500
商品及び製品	18,943	19,318
仕掛品	11,786	9,776
原材料及び貯蔵品	13,751	13,579
その他	35,425	22,065
貸倒引当金	△28	△27
流動資産合計	259,948	264,394
固定資産		
有形固定資産	77,022	78,162
無形固定資産		
のれん	46,534	44,998
その他	33,794	32,135
無形固定資産合計	80,328	77,133
投資その他の資産		
投資有価証券	158,339	162,099
その他	27,323	29,306
貸倒引当金	△62	△43
投資その他の資産合計	185,600	191,362
固定資産合計	342,951	346,658
資産合計	602,900	611,053
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,572	11,011
未払法人税等	16,447	11,722
賞与引当金	8,315	7,284
返品調整引当金	2,873	2,571
その他の引当金	45	—
その他	28,540	24,492
流動負債合計	67,794	57,082
固定負債		
社債	20,094	20,084
長期借入金	10,000	10,000
退職給付に係る負債	9,901	9,755
その他	16,226	17,289
固定負債合計	56,222	57,129
負債合計	124,016	114,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	455,497	467,762
自己株式	△49,754	△49,751
株主資本合計	447,249	459,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,675	31,155
繰延ヘッジ損益	—	△146
為替換算調整勘定	3,843	5,756
退職給付に係る調整累計額	△5,508	△4,225
その他の包括利益累計額合計	27,010	32,541
新株予約権	270	352
非支配株主持分	4,353	4,430
純資産合計	478,883	496,841
負債純資産合計	602,900	611,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	129,842	138,279
売上原価	38,146	36,451
売上総利益	91,695	101,828
販売費及び一般管理費	68,976	67,894
営業利益	22,719	33,933
営業外収益		
受取利息	241	338
受取配当金	7,061	718
その他	3,171	746
営業外収益合計	10,474	1,803
営業外費用		
支払利息	180	107
寄付金	528	407
その他	1,069	431
営業外費用合計	1,778	945
経常利益	31,415	34,791
特別利益		
投資有価証券売却益	67	1,757
事業譲渡益	179	—
特別利益合計	246	1,757
特別損失		
和解金	—	1,900
特別損失合計	—	1,900
税金等調整前四半期純利益	31,661	34,648
法人税、住民税及び事業税	9,078	10,728
過年度法人税等	13,842	—
法人税等調整額	△1,003	2,538
法人税等合計	21,917	13,266
四半期純利益	9,744	21,381
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	33	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,710	21,386

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	9,744	21,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,655	2,480
繰延ヘッジ損益	△182	△146
為替換算調整勘定	3,260	1,995
退職給付に係る調整額	638	1,283
その他の包括利益合計	61	5,613
四半期包括利益	9,805	26,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,050	26,917
非支配株主に係る四半期包括利益	△245	77

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	31,661	34,648
減価償却費	6,294	5,970
のれん償却額	1,406	1,661
有形固定資産処分損益(△は益)	2	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△67	△1,757
事業譲渡損益(△は益)	△179	—
受取利息及び受取配当金	△7,303	△1,056
支払利息	180	107
為替差損益(△は益)	△2,879	101
売上債権の増減額(△は増加)	45	6,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,927	1,800
仕入債務の増減額(△は減少)	1,232	661
その他	△1,468	△6,113
小計	26,998	42,619
利息及び配当金の受取額	7,245	14,357
利息の支払額	△211	△99
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,685	△15,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,346	41,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,270	△17,119
定期預金の払戻による収入	5,236	5,748
有価証券の取得による支出	△18,000	△7,500
有価証券の償還による収入	—	5,000
有形固定資産の取得による支出	△6,592	△3,416
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△1,482	△3,021
投資有価証券の取得による支出	△1,924	△46
投資有価証券の売却による収入	152	2,128
短期貸付けによる支出	—	△370
子会社株式の取得による支出	△23	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△543
事業譲渡による収入	221	—
その他	△110	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,794	△19,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△38
社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△8,030	△9,107
その他	△31	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,061	△9,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	711	242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,797	12,929
現金及び現金同等物の期首残高	108,338	78,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,540	91,651

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。